

主 催：玉川大学 教育学部 健康教育研究センター



第2回シンポジウム

# スポーツと教育

オリンピック教育を考える

2020年オリンピック/パラリンピックが東京に決定して1年、その準備に関する様々な動きがニュースになっています。東京都では、子供達が五輪の意義や参加国の歴史、文化を学べるよう「オリンピック教育推進校」として300校を指定しました。本研究センターでは昨年につきオリンピックをお招きし「スポーツと教育」を主題に、オリンピック成功の大きな鍵を握る『オリンピック教育』について大いに議論したいと思います。



首都大学東京 教授

舛本 直文 氏

テーマ：「オリンピックとは何か？」  
：1964年東京大会から2020 TOKYOへ」

専門はスポーツ哲学、スポーツ映像文化論、オリンピック研究。1950年広島県生まれ。1977年東京教育大学大学院修了。筑波大学、東京都立大学を経て、2007年より首都大学東京教授。博士（体育科学）。NPO法人日本オリンピック・アカデミー理事（研究委員会委員長）。東京都教育庁「東京のオリンピック・パラリンピック教育を考える有識者会議」（副委員長）。



スケルトン選手 オリンピック代表

越 和宏 氏

テーマ：「オリンピックの魅力  
～私の経験から～」

1964年長野県生まれ。全日本スケルトン選手権大会で1998年から四連覇。1997-1998年、2000-2001年シーズンにおいてはワールドカップ総合成績2位。2002年（ソルトレイクシティ）、2006年（トリノ）、2010年（バンクーバー）のオリンピックに3大会連続出場。ソルトレイクシティオリンピックでは8位入賞。バンクーバーオリンピックには冬期オリンピック日本人史上最年長の45歳で出場。その後、指導者として後進の指導にあたる。

日 時：平成26年 **12**月 **6**日（土）  
13:30~16:00

場 所：玉川大学 5号館 247教室

入場無料

どなたでもお気軽に  
ご参加ください

玉川大学 教育学部